

感染症と予防対策研修会 報告

2020年9月30日(水) 16時より、オンライン(ZOOM)による「感染症と予防対策～正しい知識で冷静な対応をしよう～」研修会を開催いたしました。医療・介護関係者25名の方々にご参加いただき、感染症と予防対策について知識を深めることができました。



<講師> **長久 剛** 氏

姫路赤十字病院 救急・感染症棟勤務
感染管理認定看護師

所属先病院外の活動としても、播磨地域感染管理ネットワークメンバーとして、毎年地域での研修会を開催されています。

<ポイント>

- **新型コロナウイルスは接触・飛沫感染する。エアロゾルにも注意が必要!**
(エアロゾル：気体中に浮遊する微小な液体または個体の粒子と気体の混合体)
- **消毒液は正しく選択し環境整備を励行する**
- **コロナ禍において施設では普段から眼・口・鼻などの粘膜防御を心掛ける**
- **体調管理をしっかりする**

医療・介護関係者研修会

感染症と + 予防対策

～正しい知識で冷静な対応をしよう～

2020年9月30日(水) 16時～17時30分
講師：長久 剛 (ちょうきゅうつよし) 氏
<姫路赤十字病院 感染管理認定看護師>

※日医生涯教育講座認定
(単位1.5、カリキュラムコード 8)

姫路市在宅医療・介護連携支援センター

アンケートへのご協力ありがとうございました!

- ▶ アンケートの声を一部ご紹介します
- ▶ 感染症対策が薄れつつある利用者もいるが、自身を守るためにアルコール消毒薬やサージカルマスクを装着できるように常に携帯しておくなど、気を引き締めていかなければならないと感じた。
- ▶ コロナ感染対策については厚生省のマニュアルに基づき、隔離、PPEをしてきましたが疑心暗鬼の部分もあり、今回これまで実施してきたことが問題なかったのだと再確認でき今後も自信を持って対策できると感じました。
- ▶ 「標準予防策の基本」、「コロナ禍でできる各施設での対策」を参考に職場環境や訪問時の注意点・自己管理の徹底、体調異変時の上司へ報告しやすい環境等再度見直していきたいと思った。
- ▶ 眼に見えないウイルスとの闘い…地域住民の皆様が困惑、集うことがダメ、飛沫を恐れて歌う楽しみも休止し今後どうなる?と誰もが不安に思っていました。高齢者の中には「コロナで死にたくない」と自宅に閉じこもりフレイルに…。～正しい知識で冷静な対応を～予防の周知徹底を啓発していきます。
- ▶ こんな症状の時はどんな防護策でどこまで必要なのか、とコロナが流行し出してから迷う事が多かったのですが、研修会での学びを院内ICTに伝達していこうと思います。

<誰もが普段からできること>

- **ユニバーサルマスクング**
家族以外と接する場合は常にマスク着用
- **マスクを外している時の咳エチケットの遵守**
- **人と適切な距離を保つ (特に見知らぬ人)**
- **外出後や食事前後の手指衛生の徹底**
- **バランスの取れた食事・睡眠**

<いま一度確認! 職場の環境>

- **部屋の換気**
こまめに窓を開ける、空気の流れに注意
- **3密の空間を避ける工夫**
- **共有物品のこまめな消毒**
キーボード、バインダー、ボールペンなど
- **職員の体調管理**